

... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... *
北海道バイオマス・メールマガジン 第 10 号
[2007.10.9 発行] 北海道バイオマスネットワーク会議
* ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... *

<<もくじ>>

- 「北のめぐみ愛食フェア2007」で食品リサイクルの取り組みをPRします！
 - 「資源リサイクルフォーラム2007」開催決定！
 - 「ビジネスEXPO」に北海道認定リサイクル製品・ブランドを出展！
 - 「第一回ペレット市民会議（インターペレットイン美幌）」を後援します！
 - 「3R推進北海道大会」開催のお知らせ
 - 「第51回全国環境衛生大会」開催のお知らせ
 - 「びっくりどんきーpresents環境フォーラム2007Vol.2」開催のお知らせ
 - 「北海道バイオマス発見活用協議会」について
- 事務局だより
読者のみなさまからの情報をお待ちしています
編集後記

「北のめぐみ愛食フェア2007」で食品リサイクルの取り組みをPRします！
北海道バイオマスネットワーク会議では、昨年8月に「生ごみ等食品系廃棄物利活用検討部会」を設置し、事業系・生活系ワーキンググループをそれぞれ設け、利活用に向けた専門的な検討を進めています。事業系ワーキンググループでは、学識経験者、食品製造業等(製造段階)・食品流通業(流通段階)・外食産業等(消費段階)の各排出事業者、リサイクル処理事業者、試験研究機関が参加して、現状・課題の把握、論点の整理、解決方策、事例モデルの検討を行ってきました。

そのなかで、食品リサイクルについて、道内で先進的に取り組んでいる事業者があるものの、消費者や関係者に認知されていない実態が明らかになったことから、発生事業者、処理事業者、生産事業者等の各主体が一体となり、消費者等に広くPRを行うとともに、関係者間の連携強化を図ることが必要との結論に至りました。

このたび、「地産地消」、「スローフード」、「食育」を総合した「北のめぐみ愛食運動」を推進するため、生産者の顔が見え、話ができる産地直売市を道内の主要な都市で開催している「北のめぐみ愛食フェア2007」に、参加企業のご協力により、出店参加することになりました。

食品リサイクルは、北海道における食の「安全・安心」、「地産地消」に寄与するとともに、環境に配慮した「循環型社会」を形成していくための新たな取り組みです。

今回は、食品リサイクルの取り組みを、みなさんに紹介するとともに、その中から生まれた新米、旬の野菜、花、ハロウインの観賞用かぼちゃ、コラーゲンを原料としたお菓子など盛りだくさんの商品を展示、販売いたしますので、ぜひお立ち寄りください！

北海道バイオマスネットワーク会議 NEWS!
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/biomass/biomass_top.htm

- <参加企業(品目)>
- (株)レビオ(新米・旬の野菜) <http://www.rebio.co.jp/>
 - J A 月形町(花・観賞用かぼちゃ[ハロウイン]) <http://www.hamanasu.to/ja-moon/>
 - 井原水産(株)(コラーゲン食品) <http://www.yamani.com/>

<北のめぐみ愛食フェア>
日時：平成19年10月18日(木)11:00~17:00

19日(金)11:00～16:00

場所：道庁赤れんが前庭（札幌市中央区北3条西6丁目）

<http://www.aisyoku.jp/index.html>

<問い合わせ先>

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ

TEL 011-204-5197（直通）

「資源リサイクルフォーラム2007」開催決定！

北海道最大のビジネス・イベント「第21回 北海道 技術・ビジネス交流会（通称：ビジネスEXPO）」が、今年も10月24(水)、25(木)の2日間にわたり、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で開催されます。

北海道バイオマスネットワーク会議では、北海道循環資源利用促進協議会、エコロジア北海道21推進協議会及び北海道経済産業局と共催で、本イベントと同時開催で「資源リサイクルフォーラム2007」を開催いたします。

産業活動で排出されるバイオマス等の循環資源の有効利用に関する先進的な技術や情報の提供、意見交換を行うことにより、利活用を推進することを目的とするもので、本会議としては、一昨年から3回目の開催となります。

皆さん、奮ってご参加ください！

なお、資料等準備の都合がありますことから、事前に参加申込をお願いします。

参加申込様式は北海道循環資源利用促進協議会のホームページ(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/junkankyo/indexpage.htm)に掲載しています。

【資源リサイクルフォーラム2007の概要】

日時：平成19年10月24日(水)、25日(木)

場所：アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）

開催期間中、地下鉄東西線大谷地駅から無料シャトルバスが運行されています。

詳細は、北海道 技術・ビジネス交流会(ビジネスEXPO)実行委員会ホームページ(<http://www.noastec.jp/business/>)をご覧ください。

主催：北海道循環資源利用促進協議会、エコロジア北海道21推進協議会、北海道バイオマスネットワーク会議、北海道経済産業局

後援(予定)：環境省北海道地方環境事務所、北海道

参加費：無料

内容：

資源リサイクルセミナー

日時 平成19年10月24日(水)13:30～17:00

場所 アクセスサッポロ1階 小展示場

内容

講演 『環境経営概論』

((株)日立エンジニアリング・アンド・サービス 社会産業システム本部
シニアテクニカルアドバイザー 並木 慎一郎 氏)

講演 『地産地環® ～あなたのPETボトルでカーペットをつくろう』

(根来産業(株) 代表取締役 根来 功 氏)

事例報告 『ホタテ貝殻の有効活用について』

(北海道立食品加工研究センター 応用技術部機能開発科長 柿本 雅史 氏)

事例報告 『北海道リサイクルブランド「レコサール」の用途紹介』

(新日本石油(株) 研究開発本部開発部

レコサール事業化シニアスタッフ 中野 裕一 氏)

事例報告 『バッテリー再生液・ラスロンG』

(アウェイジ北海道(株) 代表取締役 阿部 豊 氏)

資源リサイクル展

日 時 平成 19 年 10 月 24 日(水)10:00~17:30

10 月 25 日(木) 9:30~17:00

場 所 アクセスサッポロ 大展示場(ブース出展)

内 容 会員企業の取組、技術、製品などの紹介

< 問い合わせ先 >

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ

TEL 011-204-5197 (直通)

「ビジネス EXPO」に北海道認定リサイクル製品・ブランドを出展!

北海道では「北海道リサイクル製品認定制度」を創設し、道内で製造されるリサイクル製品をバックアップし、利用促進に関するさまざまな PR 活動を行っています。

現在、「北海道認定リサイクル製品」52社87品目(平成19年3月現在)が認定を受けており、さらに、今年3月に「北海道リサイクルブランド」として3製品が認定を受けました。

このたび、10月24日(水)、25(木)の2日間にわたり開催される北海道最大のビジネス・イベント「第21回 北海道 技術・ビジネス交流会(通称:ビジネス EXPO)」に北海道認定リサイクル製品・ブランドを出展します。

肥料などのバイオマスに関する製品も展示しておりますので、ご来場ください!

道民のみなさん一人ひとりが積極的にリサイクル製品を利用して、環境に優しい循環型社会の形成をめざしましょう!

< 北海道リサイクル製品認定制度・リサイクルブランド制度とは? >

この制度は、循環資源の適正な循環的利用・廃棄物の減量化を促進し、道民のみなさまや事業者の方々と共に循環型社会の形成を進めていこうとするものです。

「北海道リサイクル製品認定制度」は、道内で発生した循環資源を利用し、道内で製造された一定の基準を満たすリサイクル製品を北海道が認定し、PRを行うなどしてリサイクル製品の利用を促進する制度です。

また、「北海道リサイクルブランド」は、北海道認定リサイクル製品のうち、道内で開発された技術を用い、優れた特性を有した北海道らしいリサイクル製品を認定する制度で、平成18年7月に創設しました。

< ビジネス EXPO(第21回 北海道 技術・ビジネス交流会) >

日 時 : 平成 19 年 10 月 24 日(水)、25 日(木)

場 所 : アクセスサッポロ (札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)

U R L : <http://www.noastec.jp/business/>

< 問い合わせ先 >

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ

TEL 011-204-5197 (直通)

「第一回ペレット市民会議(インターペレットイン美幌)」を後援します!

北海道バイオマスネットワーク会議の構成機関である北海道木質バイオマス研究会がペレットの利活用を目的とした市民会議を11月17日(土)、18日(日)の2日間、美幌町民会館で開催しますので、お近くの方は、お声をかけていただき、ご参加ください!

日 時 : 平成 19 年 11 月 17 - 18 日

17日12:30開場、18:30懇親会(グリーンビレッジ)

18日9:00テクニカルツアー

- 会場 : 美幌町民会館
主催 : 北海道木質バイオマス研究会
共催 : 美幌町、ペレットファン QLove 北海道
協力 : (財)北海道開発協会
後援 : 網走開発建設部、網走支庁、森林利用学会、日本エネルギー学会、
日本太陽エネルギー学会、(財)日本住宅・木材技術センター、
北海道バイオマスネットワーク会議、北海道バイオマス発見活用協議会、
NEDO北海道支部、(財)北海道環境財団、
在札幌米国総領事館、(社)全国木材組合連合会
協賛 : 臼井鋳鉄工業(株)(株)サビオ、
バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)、
北海道ペレット(株)三基開発(株)(株)ホクスイ設計コンサル、
未来を拓く森林づくり協議会
基調講演 : 武山 倫(建築家)
「エネルギーの地産地消 尺度としての二酸化炭素」
特別講演 : 斉藤 新一郎(元 専修大学北海道短大教授)
「木質エネルギー生産へのヤナギ類の活用
ヤナギ類の形態・生態・利活用について」
展示 : 主催者展示(木ガス発電デモ、ペレットストーブ2種他)、
協賛者展示(ペレットストーブ、クッキングストーブ、
各種ペレット他)
協賛者以外展示(数件追加募集中 10/17 まで)
懇親会 : 3,500円(グリーンビレッジ宿泊費4,000円別)
テクニカルツアー : 木材の総合的リサイクルの現場
無料、先着40名
問い合わせ先 : ペレット市民会議実行委員会
(Tel:0157-26-9210,Fax:0157-26-9237, E-mail:mikiyt@hotmail.com)
備考 : 聴講料600円(資料代)、主催、共催、協賛の関係者は無料
(美幌町民を含む)、後援の関係者は半額免除 展示は無料
参加申し込み期限および展示申し込み期限は10/31締め切り
で先着順150名。ポスター希望者は、メール添付で可能。

「3R推進北海道大会2007」開催のお知らせ

この大会は、10月の3R推進月間に合わせて、環境省北海道気泡環境事務所、
経済産業省北海道経済産業局、農林水産省北海道農政事務所、北海道、札幌市が主催で、
ごみのリデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)という
「3R」の取組を広く知っていただくことを目的に開催するものです。
10/25(木)に札幌全日空ホテルで環境リサイクルセミナー、10/26(金)にちえりあ講堂で
3R道民とことん交流会、10/27(土)にちえりあ研修室で3R体験・実演講座、
10/24(水)~30(火)にリサイクルプラザ宮の沢で市民&キッズの3R交流ひろばを
開催します。

開会式では、平成19年度北海道ゼロ・エミ大賞表彰式が行われます。

なお、詳細につきましては、NPO法人 環境り・ふれんずのホームページ
(<http://www.refriends.org/>)をご覧ください。

<問い合わせ先>

NPO法人 環境り・ふれんず

TEL&FAX:011-618-0530

URL : <http://www.refriends.org/>

「第51回全国環境衛生大会」開催のお知らせ

環境保全、廃棄物・リサイクル関係の産学官延べ約2,000人が集まり、
顕彰と情報交換を通じて環境保全の普及啓発を行う大会が開催されます。

主催：(財)日本環境衛生センター

後援：環境省、厚生労働省、北海道、札幌市他

日程：平成19年10月17日 大会式典(表彰式；環境大臣、厚生労働大臣他)

特別企画シンポジウム(テーマ:3Rに向けてのアジア地域の挑戦)

18日 分科会(生活衛生、廃棄物・リサイクル対策、環境保全)

(17~18日 展示コーナー 廃棄物・リサイクル関係の情報提供や交流の場として北海道認定リサイクル製品も展示されます。)

場所：札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目)

問い合わせ先：(財)日本環境衛生センター 電話(044-288-5095)

大会案内のホームページ

<http://www.jesc.or.jp/work/taikai/index.html>

又は 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環調整グループ

電話(011-204-5196)

「びっくりどんきーpresents 環境フォーラム 2007Vol.2」開催のお知らせ

来る11月18日(日)札幌グランドホテルにおきまして、『成長の限界』著者、
デニス・メドウズ博士と「不都合な真実」訳者であり、環境ジャーナリストでもある
枝廣淳子氏を迎えて「環境フォーラム 2007 Vol.2」が開催されることとなりました。

デニス・メドウズ氏が、地球の人口・経済・環境などが相互にどのような影響を
与えるかについてシミュレーションを行い、1972年に研究成果をまとめて出版した
『成長の限界』は世界的なベストセラーとなり日本でも多くの人々に影響を与えました。

北海道でデニス・メドウズ氏にお話を聴けることは大変貴重な機会ですので、
ぜひ、フォーラム会場に足を運んでください!

<問い合わせ先>

(株)アレフ びっくりドンキーフォーラム事務局

TEL: 011-622-5588

URL: <http://www.aleph-inc.co.jp/>

「北海道バイオマス発見活用協議会」について

平成19年8月30日、北海道バイオマス発見活用協議会の設立総会が
KKRホテル札幌で開催されました。この協議会は、農林水産省補助事業である
「北海道バイオマス発見・活用促進事業」に基づき設立され、公募によって
事業実施者に選定された(株)日本総合研究所が事務局となり、

北海道地域におけるバイオマスの利活用が加速することを目的とする普及・啓発活動を
主体的に実施するとともに、生産者、消費者、産業界、既存の団体等による自発的な
普及・啓発活動等との連携についても積極的に実施するものです。

当日は、座長に北海道大学大学院工学研究科の古市教授、副座長に北海道大学大学院
農学研究科の松田教授が選任され、事務局である(株)日本総合研究所から事業の進め方
などについて説明、会員からの活動紹介として北海道バイオマスネットワーク会議に
ついて道庁循環型社会推進課から説明を行った後、意見交換を行いました。

事業は、自治体、生産者、転換者、需要家を対象とした実施調査、研修会、
シンポジウム等による普及啓発事業で構成されています。現在は、国の出先機関が
オブザーバ、学識経験者、道、民間事業者等が会員として参加していますが、
会員につきましては、広く参加を呼びかけ、増やしていく方向としています。

今後、専用ホームページ(URL: <http://www.hokkaido-biomass.jp/>)が10月下旬に

開設される予定です。詳細につきましては、事務局の方にお問い合わせください。

< 北海道バイオマス発見活用協議会事務局 >
株式会社 日本総合研究所 創発研究センター
担当：石田、安納
〒102-0082 東京都千代田区1番地16番
TEL：03-3288-4985 FAX：03-3288-4689

事務局だより

読者のみなさまからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取り組みや情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきまますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

編集後記

今回、ご紹介しました北海道バイオマス発見活用協議会ですが、今後、調査の関係などで関係者のみなさまにご案内があるかと思えます。当日の会議のなかで、北海道はバイオマスに関連するネットワークが実績を積み重ねていることから、既存のネットワークと連携しながら進めていくことが重要とのご意見がありました。北海道バイオマスネットワーク会議としても、3年目になりますが、産学官、地域による全道的なネットワークの構築を進めてきたことから、北海道バイオマス発見活用協議会と連携・協力し、さらなる道内のバイオマスの利活用の推進に努めて参りますので、みなさまのご支援、ご協力につきまして、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、今月は、3R推進月間ということもあり、ご案内のとおり各種イベントが多数開催されますので、ぜひ、足を運んでいただき、情報収集・交流の場として、有意義にご活用いただければ幸いです。

登録変更・解除について

配信登録の内容変更(送信先メールアドレスの変更など)や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局(北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ)で配信しています。

*〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 *

*TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 *

*Email: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp *

*URL: http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/biomass/biomass_top.htm *
